

小田原城天守閣 平成の大改修

小田原城天守閣 館長 諏訪 順

平成 28 年 5 月 1 日、小田原城天守閣の耐震改修が完了し、リニューアルオープンとなりました。以来、連日多くの方にご来城いただき、今年の 7 月 5 日には、リニューアル後の入城者 100 万人を達成することができました。

今回の天守閣の大改修は、昭和 35 年に復興されて以来、はじめての大規模な改修であり、耐震補強、屋根瓦の補修、外壁の塗り直し、空調設備の整備など、天守閣が美しく安全で快適な施設に生まれ変わりました。内部の展示が一新されて充実し、映像シアターやミュージアムショップも併設されています。

天守閣は小田原の観光シンボルなので、「歴史観光の拠点として小田原城を中心に、小田原の歴史的魅力を発信する」というコンセプトで、小田原城と小田原北条氏を中心に最新の研究に裏打ちされたわかりやすい展示をめざしました。これには、16 名もの市の学芸員がそれぞれの専門分野を生かし、組織横断的に参画してくれました。

展示リニューアルでは、1 階を「江戸時代の小田原城」、史跡整備が進む近世の小田原城をわかりやすく解説しています。2 階は、「戦国時代の小田原城」として、北条五代の足跡や小田原合戦について、最新の研究を反映させた展示とし、特に豊臣秀吉との小田原合戦の映像作品も新たに作成し、歴史的理解が深まるように工夫しました。

3 階では、「発掘された小田原城とその城下」コーナーを設置し、戦国期の庭園遺構が検出された御用米曲輪の切石敷遺構の原寸大の写真パネルを床と壁面に配し、これまでに小田原城と城下で行われた 600 箇所を超える発掘調査で出土した陶磁器やかわらけなどの出土遺物や考古学的成果を展示に反映させています。戦国時代の資料は、染付などの貿易陶磁器や小田原北条氏のステータスとなっていた



平成の大改修により美しくよみがえった天守閣

であろう京都系の「手づくねかわらけ」と「ロクロ成形かわらけ」を編年順に展示しています。もう一面のケースでは、志野、唐津、織部、肥前と江戸時代の資料を編年順に展示しています。また、小田原城下で出土したガラス製かんざしや幕末期の焼継資料、そして、肥前佐賀藩の鍋島家が贈答用とした「鍋島焼」など小田原城と城下の豊富な出土品の一端も併せて展示しています。

5 階最上階には、「摩利支天像」が祀られていた空間が小田原産木材を用い小田原の職人の手によって再現されました。小田原藩有林であった箱根山麓から樹齢 300 年の杉を切り出し「將軍柱」と呼ばれた芯柱として使ったこの空間は、天守閣リニューアルの象徴的なものとなっています。

そして、最上階の回廊からは、360 度のパノラマ、箱根や丹沢、そして相模湾が一望できる、素晴らしい眺めを堪能できます。

天守閣では、10 月からは特別展「小田原北条氏の絆」を開催する予定で、現在準備をしています。北条領国の各支城から出土品も多く展示されます。新しく生まれ変わった小田原城天守閣をこの機会には是非ご来城いただき、その変貌ぶりをご覧ください。

2016 年度総会報告

去る 2017(平成 29)年 5 月 13 日土曜日、2017 年度の神奈川県考古学会総会が開催されました。岡本会長の挨拶で開会、総務の司会によって議案の説明が進行し、討議が行われました。結果として、すべての議案について承認されましたので、ここに報告します。

議事 1：2016 年度事業報告

【総務】2016 年 5 月 14 日神奈川県考古学会 2016 年度総会を開催(会場：神奈川県埋蔵文化財センター研修室)、役員会、幹事会を 2016 年 4 月 20 日、7 月 20 日、9 月 21 日、2017 年 1 月 18 日、3 月 15 日の、6 回実施(会場：かながわ労働プラザ)。【会誌】『考古論叢神奈河』23 集(2014 年度分)を発行。【連絡誌】『考古かながわ』56 号を 2016 年 10 月 13 日、57 号を 2017 年 1 月 20 日に発行。【講座】2017 年 2 月 4 日「扇谷上杉氏の城―戦国黎明期に築かれた城郭―」開催(会場：横浜市歴史博物館講堂)、参加 215 名。【発表会】2016 年 11 月 13 日第 40 回神奈川県遺跡調査・研究発表会開催(於：横浜市歴史博物館講堂)、参加 149 名。【見学会】第 1 回 2016 年 7 月 23 日「発掘された日本列島 2016」展の見学(会場：東京都江戸東京博物館)、参加 23 名。第 2 回 2016 年 1 月 7 日かながわの遺跡展「かながわ最初の現代人 - 旧石器時代のヒトと社会 -」展の見学(会場：川崎市民ミュージアム)、参加 19 名。第 3 回 2016 年 2 月 18 日横須賀市国指定史跡東京湾要塞跡(猿島)の見学、参加 40 名。【ホームページ】Web 版「考古かながわ」の管理・運営。【既刊行書籍の PDF 化】連絡誌『考古かながわ』1～55 号の公開。保管期間の経過した本会刊行物について、著作権処理の済んだ刊行物から順次ホームページ「全国遺跡報告総覧」上で公開。県内最初の団体。

議事 2：2016 年度収支決算報告

2016 年度収支決算について収入と支出の内訳

の説明(3・4 頁参照)。続いて監事による会計監査報告。

議事 3：2017 年度事業計画

【総務】2017 年 5 月 13 日(土)2017 年度神奈川県考古学会総会開催。幹事会・役員会を各 3 回程度開催。日本考古学協会総会にて図書交換会に参加。会計管理、刊行物管理・販売。【会誌】『考古論叢神奈河』24～26 集の刊行。【連絡誌】『考古かながわ』58 号、59 号の発行。【講座】開催内容・場所は未定。【発表会】2017 年秋頃、第 41 回神奈川県遺跡調査・研究発表会を開催。発表遺跡・場所は未定。【見学会】神奈川県内を中心に発掘調査現場、博物館等で年 3 回程度開催。【ホームページ】神奈川県考古学会ホームページの充実化。【既刊行書籍の PDF 化とネット公開】著作権処理の済んだ刊行物から順次ホームページ「全国遺跡報告総覧」上で公開。

議事 4：2017 年度収支予算

2017 年度収支予算について収入と支出の内訳の説明(5 頁参照)。

議事 5：役員の改選について

任期満了に伴い、監事の大上周三ほか五十嵐睦・宇都洋平・桑原安須美・高橋和・西川修一・渡邊千尋が退任。新役員として香川達郎・加藤大二郎・金子好伸・土屋了介・西田真由子・西川修一(監事)が選出。

最後に、副会長からの挨拶がありました。

かながわ考古学トピックス 2017：

今回は、諏訪間順氏とエドワーズ・ウォルター氏から、それぞれご講演をいただきました。諏訪間氏からは「発掘された小田原城と天守閣の大改修」と題して、小田原城御用米曲輪で出土した切石敷き庭園などの発掘調査成果や、平成 28 年 4 月に完了した大改修とリニューアルされた常設展

示の状況についてお話しいただきました（巻頭言参照）。

またウォルター氏からは「平成における神武天皇—神武天皇「聖蹟顕彰碑」の現状—」と題して、皇紀2600年(昭和15年[1940])を記念して選定・

建立された「神武天皇聖蹟顕彰碑」が、その後どういった扱いを受け現代に伝わっているのか、西日本18ヶ所の「聖蹟」に残る実例を写真を交えて紹介し、それぞれの土地で異なる扱いについてお話しがありました。

議事2 2016年度収支決算報告・会計監査報告

2016年度収支決算書

(収入の部)

節	予算額	決算額	比較増減額	説明																																																																																										
会費	943,000	883,000	▲ 60,000	本年度会費 3,000 × 250 名 = 750,000 次年度会費 3,000 × 3 名 = 9,000 旧年度会費 3,000 × 41 名 = 123,000 ※1000 × 1 名 = 1,000 ※旧年度において、会費3,000円を誤って、2,000円納入された方が、不足分1,000円を納入されたことによる。																																																																																										
機関誌等売り上げ	200,000	383,660	183,660	発表会要旨 112,180 (内訳) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>37回要旨(会員)</td><td>300 × 2 部 =</td><td>600</td></tr> <tr><td>37回要旨(一般)</td><td>500 × 2 部 =</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>37回要旨(委託0.7)</td><td>350 × 2 部 =</td><td>700</td></tr> <tr><td>38回要旨(会員)</td><td>300 × 2 部 =</td><td>600</td></tr> <tr><td>38回要旨(一般)</td><td>500 × 2 部 =</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>38回要旨(委託0.7)</td><td>350 × 4 部 =</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>39回要旨(会員)</td><td>500 × 6 部 =</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>39回要旨(一般)</td><td>800 × 3 部 =</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>39回要旨(委託0.7)</td><td>560 × 8 部 =</td><td>4,480</td></tr> <tr><td>40回要旨(会員)</td><td>500 × 58 部 =</td><td>29,000</td></tr> <tr><td>40回要旨(一般)</td><td>1,000 × 68 部 =</td><td>68,000</td></tr> </table> 考古論叢 42,400 (内訳) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>論叢20(一般)</td><td>1,000 × 3 部 =</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>論叢21(一般)</td><td>1,000 × 4 部 =</td><td>4,000</td></tr> <tr><td>論叢21(委託0.8)</td><td>800 × 22 部 =</td><td>17,600</td></tr> <tr><td>論叢22(一般)</td><td>1,000 × 5 部 =</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>論叢22(委託0.8)</td><td>800 × 16 部 =</td><td>12,800</td></tr> </table> 講座要旨 229,080 (内訳) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>貝塚(委託0.7)</td><td>1,050 × 1 部 =</td><td>1,050</td></tr> <tr><td>旧石器ムラと住まい(委託0.7)</td><td>1,540 × 1 部 =</td><td>1,540</td></tr> <tr><td>講座災害(一般)</td><td>700 × 1 部 =</td><td>700</td></tr> <tr><td>講座災害(委託0.7)</td><td>490 × 1 部 =</td><td>490</td></tr> <tr><td>講座時空(会員)</td><td>200 × 1 部 =</td><td>200</td></tr> <tr><td>講座時空(一般)</td><td>500 × 1 部 =</td><td>500</td></tr> <tr><td>講座時空(委託0.7)</td><td>350 × 4 部 =</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>講座相模国(共通)</td><td>400 × 6 部 =</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>20周年記録集(委託0.8)</td><td>800 × 11 部 =</td><td>8,800</td></tr> <tr><td>講座装い(会員)</td><td>500 × 5 部 =</td><td>2,500</td></tr> <tr><td>講座装い(一般)</td><td>1,000 × 23 部 =</td><td>23,000</td></tr> <tr><td>講座装い(委託0.8)</td><td>800 × 5 部 =</td><td>4,000</td></tr> <tr><td>講座扇谷(会員)</td><td>500 × 33 部 =</td><td>16,500</td></tr> <tr><td>講座扇谷(一般)</td><td>1,000 × 166 部 =</td><td>166,000</td></tr> </table>	37回要旨(会員)	300 × 2 部 =	600	37回要旨(一般)	500 × 2 部 =	1,000	37回要旨(委託0.7)	350 × 2 部 =	700	38回要旨(会員)	300 × 2 部 =	600	38回要旨(一般)	500 × 2 部 =	1,000	38回要旨(委託0.7)	350 × 4 部 =	1,400	39回要旨(会員)	500 × 6 部 =	3,000	39回要旨(一般)	800 × 3 部 =	2,400	39回要旨(委託0.7)	560 × 8 部 =	4,480	40回要旨(会員)	500 × 58 部 =	29,000	40回要旨(一般)	1,000 × 68 部 =	68,000	論叢20(一般)	1,000 × 3 部 =	3,000	論叢21(一般)	1,000 × 4 部 =	4,000	論叢21(委託0.8)	800 × 22 部 =	17,600	論叢22(一般)	1,000 × 5 部 =	5,000	論叢22(委託0.8)	800 × 16 部 =	12,800	貝塚(委託0.7)	1,050 × 1 部 =	1,050	旧石器ムラと住まい(委託0.7)	1,540 × 1 部 =	1,540	講座災害(一般)	700 × 1 部 =	700	講座災害(委託0.7)	490 × 1 部 =	490	講座時空(会員)	200 × 1 部 =	200	講座時空(一般)	500 × 1 部 =	500	講座時空(委託0.7)	350 × 4 部 =	1,400	講座相模国(共通)	400 × 6 部 =	2,400	20周年記録集(委託0.8)	800 × 11 部 =	8,800	講座装い(会員)	500 × 5 部 =	2,500	講座装い(一般)	1,000 × 23 部 =	23,000	講座装い(委託0.8)	800 × 5 部 =	4,000	講座扇谷(会員)	500 × 33 部 =	16,500	講座扇谷(一般)	1,000 × 166 部 =	166,000
37回要旨(会員)	300 × 2 部 =	600																																																																																												
37回要旨(一般)	500 × 2 部 =	1,000																																																																																												
37回要旨(委託0.7)	350 × 2 部 =	700																																																																																												
38回要旨(会員)	300 × 2 部 =	600																																																																																												
38回要旨(一般)	500 × 2 部 =	1,000																																																																																												
38回要旨(委託0.7)	350 × 4 部 =	1,400																																																																																												
39回要旨(会員)	500 × 6 部 =	3,000																																																																																												
39回要旨(一般)	800 × 3 部 =	2,400																																																																																												
39回要旨(委託0.7)	560 × 8 部 =	4,480																																																																																												
40回要旨(会員)	500 × 58 部 =	29,000																																																																																												
40回要旨(一般)	1,000 × 68 部 =	68,000																																																																																												
論叢20(一般)	1,000 × 3 部 =	3,000																																																																																												
論叢21(一般)	1,000 × 4 部 =	4,000																																																																																												
論叢21(委託0.8)	800 × 22 部 =	17,600																																																																																												
論叢22(一般)	1,000 × 5 部 =	5,000																																																																																												
論叢22(委託0.8)	800 × 16 部 =	12,800																																																																																												
貝塚(委託0.7)	1,050 × 1 部 =	1,050																																																																																												
旧石器ムラと住まい(委託0.7)	1,540 × 1 部 =	1,540																																																																																												
講座災害(一般)	700 × 1 部 =	700																																																																																												
講座災害(委託0.7)	490 × 1 部 =	490																																																																																												
講座時空(会員)	200 × 1 部 =	200																																																																																												
講座時空(一般)	500 × 1 部 =	500																																																																																												
講座時空(委託0.7)	350 × 4 部 =	1,400																																																																																												
講座相模国(共通)	400 × 6 部 =	2,400																																																																																												
20周年記録集(委託0.8)	800 × 11 部 =	8,800																																																																																												
講座装い(会員)	500 × 5 部 =	2,500																																																																																												
講座装い(一般)	1,000 × 23 部 =	23,000																																																																																												
講座装い(委託0.8)	800 × 5 部 =	4,000																																																																																												
講座扇谷(会員)	500 × 33 部 =	16,500																																																																																												
講座扇谷(一般)	1,000 × 166 部 =	166,000																																																																																												
雑収入	500	1,175	675	預金利子 他 1,175																																																																																										
繰越金	1,946,202	1,946,202	0	1,946,202																																																																																										
合計	3,089,702	3,214,037	124,335																																																																																											

(支出の部)

節	予算額	決算額	比較増減額	説明	予算額	決算額
事務局費	155,000	108,230	▲ 46,770	連絡費	50,000	57,981
				事務費	20,000	8,695
				行事開催費	5,000	2,000
				会場借上費	25,000	21,750
				旅費	50,000	15,564
				手数料	5,000	2,240
会誌費	1,210,000	393,676	▲ 816,324	連絡費	5,000	1,960
				事務費	5,000	108
				印刷費	1,200,000	391,608
連絡誌費	160,000	143,990	▲ 16,010	連絡費	3,000	1,088
				事務費	7,000	13,182
				印刷費	150,000	129,720
発表会費	250,000	150,326	▲ 99,674	連絡費	10,000	26,896
				事務費	5,000	1,700
				行事開催費	20,000	13,730
				印刷費	200,000	108,000
				謝礼	15,000	0
講座費	288,000	184,355	▲ 103,645	連絡費	5,000	12,994
				事務費	3,000	814
				行事開催費	35,000	19,850
				印刷費	200,000	120,697
				謝礼	45,000	30,000
見学会費	80,000	58,332	▲ 21,668	連絡費	55,000	49,920
				事務費	5,000	4,412
				行事開催費	10,000	4,000
				謝礼	10,000	0
ホームページ 運営費	30,000	14,580	▲ 15,420	事務費	5,000	0
				借上費	20,000	14,580
				謝礼	5,000	0
PDF化	85,000	10,609	▲ 74,391	連絡費	5,000	9,170
				事務費	0	1,439
				印刷費	80,000	0
予備費	831,702	0	▲ 831,702		831,702	0
合 計	3,089,702	1,064,098	▲ 2,025,604			

* 収入(3,214,037 円) - 支出(1,064,098 円) = 次年度繰越金(2,149,939 円)

会計監査報告

2016年度の収支決算について、金銭出納簿、証拠書類等を精査し、預金残高と照合した結果、誤りなく適正に処理されていることを確認しました。

2017年4月13日

監 事 大 上 周 三

鈴 木 次 郎



議事4 2017年度収支予算

2017年度収支予算(案)

(収入の部)

節	予算額	前年度予算額	比較増減額	説明
会費	933,000	943,000	-10,000	会費 3,000 × 311名 = 933,000 会員数313名(顧問2名含)
機関誌等 売り上げ	310,000	200,000	110,000	発表会要旨・考古論叢・講座要旨等売上
雑収入	500	500	0	預金利子/雑収入等
繰越金	2,149,939	1,946,202	203,737	
合計	3,393,439	3,089,702	303,737	

(支出の部)

節	予算額	前年度予算額	比較増減額	説明
事務局費	132,500	155,000	-22,500	連絡費 63,000 総会案内状、会費納入依頼等発送
				事務費 10,000 会議資料作成、既刊行物発送、消耗品購入
				行事開催費 27,000 総会・トピックス、役員会等会場使用料
				旅費 30,000 役員会等会議交通費(2016・2017年度分)
				手数料 2,500 振込手数料
会誌費	1,208,000	1,210,000	-2,000	連絡費 7,000 事務連絡等の送付
				事務費 1,000 会議資料作成、消耗品購入
				印刷費 1,200,000 考古論叢24～26集発行・発送
連絡誌費	170,500	160,000	10,500	連絡費 5,500 事務連絡等の送付
				事務費 15,000 会議資料作成、消耗品購入
				印刷費 150,000 連絡誌58号・59号の発行
発表会費	185,500	250,000	-64,500	連絡費 33,000 事務連絡等の送付
				事務費 2,500 会議資料作成、消耗品購入
				印刷費 120,000 第41回発表要旨発行、チラシ印刷および発送
				行事開催費 15,000 会場借上、会場博物館の展示入場券購入
				謝礼 15,000 外部講師依頼 15,000円×1人
講座費	251,000	288,000	-37,000	連絡費 23,000 事務連絡等の送付
				事務費 3,000 会議資料作成、消耗品購入
				印刷費 150,000 講座要旨の発行、チラシ印刷および発送
				行事開催費 30,000 会場借上、会場博物館の展示入場券購入
				謝礼 45,000 外部講師依頼 15,000円×3人
見学会費	73,000	80,000	-7,000	連絡費 53,000 案内状等送付
				事務費 5,000 会議資料作成、消耗品購入
				行事開催費 5,000 博物館入館料等
				謝礼 10,000 協力者謝礼
ホームページ運 営費	25,000	30,000	-5,000	事務費 5,000 会議資料作成、ソフトウェア・消耗品購入
				謝礼 0 協力者謝礼
				借上費 20,000 サーバー使用料
PDF化	9,500	85,000	-75,500	連絡費 8,000 事務連絡等の送付
				事務費 1,500 会議資料作成、消耗品購入
				印刷費 0 既刊行物のデジタル化
予備費	1,338,439	831,702	506,737	
合計	3,393,439	3,089,702	303,737	

平成 28年度第 3 回見学会参加記

猿島砲台跡見学会

濱野 八十一

「東京湾に唯一浮かぶ無人島・猿島」に引かれ、2月18日(土)第3回見学会に会員でもないのに参加しました。当日は幹事さんの予想を上回る40名の参加があり盛況でした。

10時半に船が出発し期待感が高まります。上陸して先ず管理事務所で横須賀教委の野内秀明さんから島の概要説明がありました。案内にあった「猿島要塞」は間違いで正式には「東京湾要塞猿島砲台跡」だそうです。首都東京、横須賀軍港防衛の為に幕末から明治、太平洋戦争まで建設された施設で、通常は施錠され非公開となっている。今回は特別に専任ガイド付きで兵舎や弾薬庫の内部に入ることが出来、貴重な歴史遺産の体験であった。

猿島の最奥は日蓮洞窟で横浜千葉方面の眺望が素晴らしい。ここは古代住居跡でもある。

帰り道は鬱蒼としたアドベンチャー・アイランドのハイキングを楽しんだ。



第41回 神奈川県遺跡調査・研究発表会

日時：2017年10月22日(日) 10:00～16:30(受付は9:30～)

場所：横浜市歴史博物館2F 講堂

発表遺跡

- 横浜市 称名寺貝塚 D地点…堆積土層を中心に
 - 横浜市 大谷戸南遺跡…弥生時代後期から古墳時代前期の集落跡
 - 秦野市 寺山中丸遺跡…平安時代の寺域関連遺跡
 - 横浜市 下飯田林遺跡 第3地点・中ノ宮北遺跡 第2地点…中世墓群と推定鎌倉道の調査
- ～小特集「近年行われた学術調査」～
- 川崎市 加瀬台遺跡群…第4・7・8地点…弥生時代中期後半～後期前半の集落と、加瀬台2号墳の調査
 - 川崎市 蟹ヶ谷古墳群…川崎市域における現存する唯一の前方後円墳の"発見"
 - 川崎市 橘樹官衙遺跡群…平成28年度橘樹官衙遺跡群確認調査事業の成果
 - 茅ヶ崎市 下寺尾官衙遺跡群…史跡下寺尾官衙遺跡群の確認調査
 - 相模原市 田名半在家遺跡 G地点…10世紀の住居跡から発見された唐式鏡の事例

※調査組織・発表者は詳細が決まり次第、追ってお知らせします。

平成 29年度第 1 回見学会参加記

江戸東京博物館「発掘された日本列島
新発見考古速報2017」見学会参加記

織笠 明子

2017年6月3日(土)～7月23日(日)までの期間、まず江戸東京博物館にて、23回目をむかえる「発掘された日本列島 新発見考古速報2017」が開催された。恒例の神奈川県考古学会見学会が催されたのは、最終日前日の7月22日(土)であった。

捏造問題発覚以降、「新発見速報展」という言いまわしにどんどん違和感を強くしていたこともあって、なかなか参加に踏み切れずにいたが、百花台遺跡と聞いて、突然のように興味を覚えた。当日午後2時に集合した見学会参加者は21名。集合写真撮影の後、会場へ移動する。午後2時半からの文化庁職員の方による展示解説の始まるまでの間、各自自由見学。

今回の展示は、新発見考古速報の17遺跡と共に、二つの特集と一つの特別報告がある。特集Ⅰ：復興のための文化力—東日本大震災の復興と埋蔵文化財の保護—3遺跡。特集Ⅱ：発掘された水中遺跡7遺跡。以上の27遺跡が紹介されている。特別報告は「熊本地震からの復興に向けて」と題した、パネル展示である。熊本城の被災状況の映像が象徴的にテレビで流れていたが、その他の文化財についてはほとんど報道されていない。それは、被害状況の確認が現在進行中というのが現状だからとのこと。その一部として、複数の装飾古墳の被害状況のパネル展示がなされている。

自由見学の中、目をひいた展示の感想を少々。入口の展示は、先土器(旧石器)時代の、長崎県百花台遺跡の資料である。石材は、漆黒の黒曜石であった。眼力の衰えのせいか、石器の稜線の認識もままならず。ただ、台形石器の刃部の横一直線の展示が、想像力を刺激するのみ。再整理の結果が期待される。山形県押出遺跡では、継続的な調査が行われている。漆塗りの土器が目を引いた。完形の隅丸方形(上面観)の形態である。これが渋い赤。そして、奈良県唐招提寺旧境内出土の三彩瓦の三色。これら三遺跡の展示資料に表された色彩への感覚。黒・赤・緑・茶(黄)・白のそ



江戸東京博物館にて

れぞれに、時代を越えた、ものに対する人の心持ち、ものに寄せる人の色彩を通じての願いにも似た心情の深さを、見せつけられる思いがした。

神奈川県の遺跡としては、小田原市中里遺跡の弥生時代中期の大遺跡が展示されていた。県西部といえば平沢同明遺跡しか浮かばなかったところに、この大規模遺跡とのめぐりあいは、自身の弥生時代像をやっと研究現状の近くにまで運んでくれたように思われた。それと共に、神奈川県考古学会の様々な活動から遠ざかっていたことに、あらためて反省させられる思いだった。

午後2時半から始まった展示解説は、わかりやすく興味深い説明であった。その一つに、隣接展示の二つの遺跡の銅鐸についての話があった。岡山県神明遺跡の埋納坑発見の扁平鈕式古段階の完形に近い銅鐸と、香川県天満・宮西遺跡の自然流路とみられる落ち込み発見の絵画銅鐸の破片である。銅鐸のありよう・型式・出土状態といったものの違いから、社会の大きな変化を読み取っていくことが出来るという解説であった。今までの研究成果と共に、発掘調査そのものの重要性を、あらためて痛感させられる例であった。

今年の展示資料は、例年にも増して、継続調査・整理の途上、再整理の中での新たな成果を示す例が多かったとのこと。蓄積した資料をいかに生かすかは、増々重要な課題となっている。そのような現状を、今回の展示から、少しでも分かり合うことができたらと思う。いつまでも「新発見考古速報」で、はたしてよいのだろうか。データの収集と、地道で丁寧な発掘・整理作業、その上での比較・検討の繰り返しこそが、資料の意義をより大きく意味付けていくものになるのだと、あらためて思いつつ、会場をあとにした。

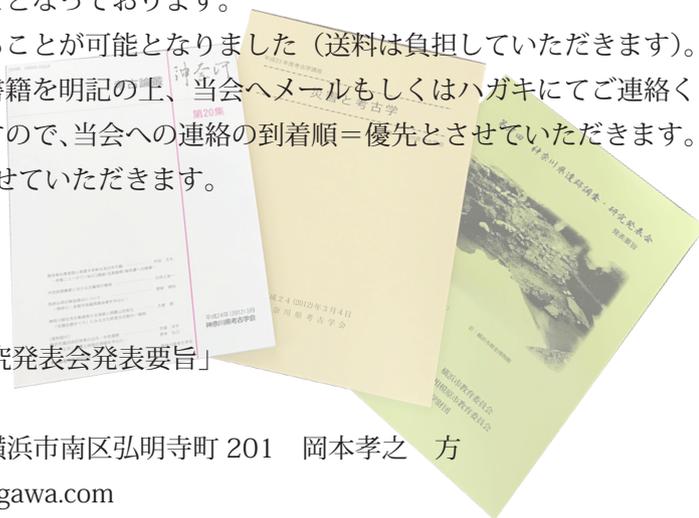
保管期間終了書籍の無償配布について

2016年度の総会で承認されたように、当会刊行書籍刊行後、「考古論叢神奈河」「講座資料」においては5年、「調査研究発表会発表要旨」においては3年を経過（年度単位）したもののについては、会員等に無償配布できることとなっております。

今回、次の3書籍が無償で提供することが可能となりました（送料は負担していただきます）。ご希望の方がおられましたら、希望書籍を明記の上、当会へメールもしくはハガキにてご連絡ください。残部部数は限られておりますので、当会への連絡の到着順＝優先とさせていただきます。

なお、締め切りは、10月末日とさせていただきます。

- ・「考古論叢神奈河 第20号」
- ・「考古学講座 災害と考古学」
- ・「第37回 神奈川県遺跡調査・研究発表会発表要旨」



連絡先 事務局：〒232-0067 横浜市南区弘明寺町201 岡本孝之 方

メール：soumu@koukokanagawa.com

第2回見学会のご案内

本年度第2回見学会は、次の資料館に訪問し、弥生時代の遺跡と遺物を中心に見学します。両資料館のイベントに合わせ、11月4日（土祝）に実施しますので、奮ってご参加ください。

・綾瀬市神崎遺跡資料館

…昨年度開館した資料館です。国指定史跡の弥生時代集落が公園整備されています。

・海老名市温故館

…河原口坊中遺跡から出土した弥生時代の貴重な資料を見学します。

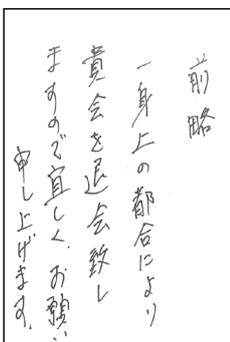
編集後記

総会報告の通り、連絡誌担当も新体制となりスタートいたしました。様々な情報を発信してゆきますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。また、次号も見学会の参加記を掲載する予定です。参加記を投稿してみたい方がいらっしゃいましたらお待ちしております。

不明退会はがきの問い合わせ

平成29年4月18日付で退会希望の葉書が会長宅に届きましたが、住所や氏名といった個人を特定できる情報が記載されておりませんでした。よって、この場を借りて問い合わせ

をさせていただきます。消印は平塚からで、文面は画像の通りとなっております。ご本人、またはご存知の方がいらっしゃいましたら、本会へご連絡ください。



考古かながわ 第58号

発行 神奈川県考古学会

発行日 2017年9月22日

印刷 ㈲湘南グッド

発行者 神奈川県考古学会 会長：岡本孝之

編集 連絡誌担当（工藤・西田・古田土）

郵便振替 00240-9-71208

E-mail soumu@koukokanagawa.com

URL <http://www.koukokanagawa.com>